

ケニアの経験をソマリアの保健システム強化のために

－ JICAのソマリア支援が20年ぶりに再開 －

2011年09月16日

今年初めから、東アフリカのソマリアは、過去60年間で最悪といわれる干ばつに見舞われている。食糧を求めて数多くの難民が発生しており、近隣国のケニアに1日平均で1,300人が、エチオピアには、今年に入ってから約10万人が流入しているが、十分に支援が行き届かない状態だ。日本はこれまでに、国連世界食糧計画（WFP）や国連児童基金（UNICEF）などを通じて、約9,000万ドル（約72億円）の援助を実施。また、ケニア・エチオピア両政府から要請を受け、8月と9月に緊急援助物資を供与し、両国の難民キャンプの居住環境の改善を支援している。

一方、ソマリアは、乳幼児死亡率の削減、妊産婦の健康改善、HIV・エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止など、命にかかわる保健上の問題を数多く抱えている。1991年のバーレ政権崩壊後、ソマリア全土を掌握する政府がなく、保健などの公共社会サービスの提供は、政府による規制や明確な開発計画がないまま、NGOなどの民間機関により主に行われている。このため、保健システムの整備や強化、人材の育成など、中長期的視野に立った支援も必要とされている。

ケニアに行政官らを招く



保健リーダーシップ研修では活発な意見交換が行われた

そこでJICAは、ケニアで実施している、「ニャンザ州保健マネージメントシステム強化プロジェクト」（2009年7月～2013年6月）の現場に、ソマリア北西部に位置する「ソマリランド（注）」の保健省職員ら16人を招くという形で、「保健リーダーシップ研修」を実施。現在、治安上の理由からJICA関係者のソマリア渡航は原則禁止されているため、ソマリアの保健分野の支援において主導的な立場にあるUNICEFソマリア事務所から、技術面や運営面での協力を得て実現にこぎつけた。1991年に始まり現在もなお続く内戦により、ソマリア支援が停止されて以来、実に20年ぶりのJICAによる支援再開となった。

保健状況の改善に共に取り組む

9月7日から4日間にわたり、ケニア西部のニャンザ州キスム市で実施された研修にはフセイン・マフメド・モハメド「保健大臣」を筆頭に、保健省幹部や地方保健事務所職員が参加。研修では、保健システム強化を目的とした、マネジメント改革やサービスの質の向上などに関する講義を受けた。また、地域保健活動に実際に参加し、コミュニティー・ヘルス・ワーカーによる家庭訪問や、トイレ導入など、衛生環境の改善活動を体験。キスム・ウエスト県の保健施設やコミュニティーなどの現場視



察を通して、ニャンザ州および県保健局との協力による保健サービス改善の取り組みを体感することができた。

研修員を受け入れたアッパーコンベワ・コミュニティのマナス・オカンダ・アディポ副チーフは、「今回の視察では、われわれの活動をソマリアの人に見てもらうことができた。次はこちらがソマリアの現場を訪問して経験を共有し、保健状況の改善に共に取り組んでいきたい」と意気込みを語った。

また、モハメド「保健大臣」は、「コミュニティでは想像以上の活動を行っており、地方自治体とコミュニティ・ヘルス・ワーカーとが一体となった保健システム強化の事例として参考になった」と述べた。また、「今回の研修で得た知識を『ソマリランド』に持ち帰り、保健状況改善のための行政改革に取り組みたい。研修で出会った関係者とは『チーム・キスム』として、今後もそれぞれの地域の保健状況改善のために協力していきたい」と今後の抱負を語った。

活動について紹介するキスム・ウエスト県のコミュニティ保健委員会議長。黒板には担当するコミュニティの保健指標の推移が書かれている



キスム・ウエスト県のコミュニティ・ヘルス・ワーカーから説明を受ける研修員

保健システム強化にかける情熱

研修員を受け入れた「ニャンザ州保健マネジメントシステム強化プロジェクト」のチーフアドバイザーを務める杉下智彦JICA国際協力専門員（埼玉県出身）は「『ソマリランド』の保健行政官が母国の保健システム強化にかける情熱には心を動かされた。『保健大臣』がケニアのコミュニティ保健活動を例に挙げて『自分たちは地域住民が主役となった保健システム構築のためのサポート役でなければならない』と話すのを聞き、近い将来、大きな実を結ぶことを確信している」と、研修の意義と成果について述べた。



力強く握手をするモハメド「保健大臣」（左）と杉下チーフアドバイザー

（注）ソマリアでは1991年に内戦状態に入り、2005年には暫定連邦政府が樹立されたものの、日本が承認し得る実効的支配を確立した政府が存在していないため、文中における地域名や閣僚名には「」（かっこ）をつけて表記した。